

高山こくどう ニュースレター 7月号

大雨、土砂崩落等により管内の道路が相次いで通行止め

西日本を中心に降り続いた記録的な大雨『平成30年7月豪雨』においては、当事務所管内でも7月5日から8日まで断続的に降り続き、下呂市内で6箇所、高山市内で1箇所、飛騨市内で4箇所の土砂崩落及び流入箇所が相次いで発生しました。この大雨により国道41号及び中部縦貫自動車道は、通行規制雨量超過及び土砂崩落等による通行止めを余儀なくされました。

また、飛騨地域3市1村の道路でも土砂崩落や橋の流失など数多くの被害が発生し、なかでも被害の大きかった下呂市にはTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)を派遣し被害状況の調査にあたりました。

管内の主な土砂崩落等箇所



飛騨地域を支える大動脈である国道41号、高速ネットワークの一部を担う中部縦貫自動車道の通行止めは物流や観光に打撃を与えるばかりで無く、地域生活にも非常に大きな影響を及ぼします。これらの解消を1分1秒でも早く実現させようと、飛騨地域の建設業者からなる「飛騨三協防災対策協議会」の皆様方に、昼夜を問わない懸命な復旧作業を行っていただきました。その際、各被災箇所に搬入され積み上げられた大型土嚢は約700個！これを僅か6～7時間で作り上げました。これらの懸命な復旧作業により7月7日に開始した土砂崩落等による通行止めから約64時間で全線が通行可能となりました。

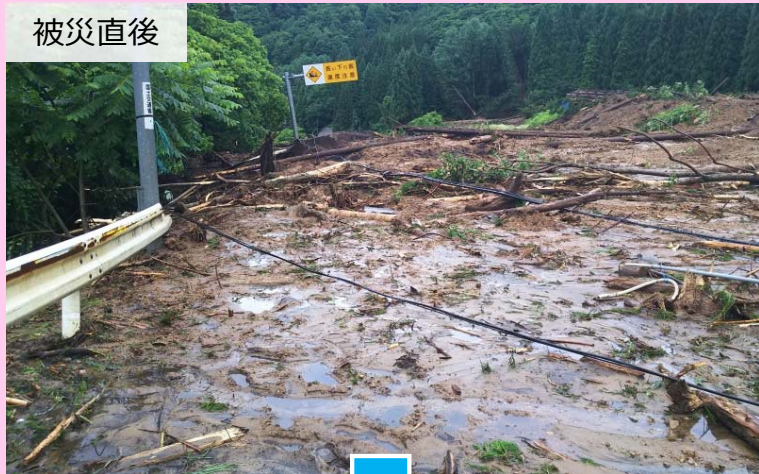
復旧作業にあられた飛騨三協防災対策協議会の皆さん、本当にお疲れ様でした。
そして、ありがとうございました。

★ 地元建設業者の懸命な作業により早期復旧できました ★

飛騨市古川町数河地内（7月7日土砂崩落発生）

下呂市三ツ瀧地内（7月8日土砂流入発生）

被災直後



被災直後



復旧作業中
(7/7～7/10)



復旧作業中
(7/8～7/10)



復旧完了後
7/10 7:00解放
(片側交互通行)



復旧完了後
7/10 7:00解放
(対面通行可)



今後も雨量規制や工事規制の実施には、ご理解とご協力の程よろしくをお願いします。

昨年度完成した工事・業務等を対象とした 優良工事等表彰式を開催

高山国道事務所では7月20日（金）、昨年度完成した工事・業務を対象に優良工事等の表彰式を開催しました。

今年度の表彰対象の例としては、地元調整、多種多様な工種、交通量の多い国道41号の現道の切り直しなど様々な困難を克服した工事、多数の橋梁についてそれぞれ異なる多様な損傷の特徴を理解し良好な施工により品質確保に努めた工事、掘削法面に発現した地層を活用し地元小学生の地層勉強会を行うなど社会に貢献した工事など、他の企業の模範となる取り組みを実施した企業及び技術者を総合的に評価しました。また、表彰対象工事において、専門性を発揮し、工事完成に貢献された協力企業及び技術者等も表彰しました。

この他、7月19日（木）に名古屋で行われた中部地方整備局長表彰の受賞者もご出席いただき、ご紹介、記念撮影をさせていただきました。その後、事務所関係者と受賞者との間で、先日の平成30年7月豪雨の対応についてや社会貢献等に関して意見交換会を行いました。

なおこの表彰式は、成績等が優秀で顕著な功績を収めた企業並びに技術者を称えるとともに、建設分野の活力の増進と技術の発展を図ることを目的に、毎年実施しているものです。

平成30年度 優良工事等表彰一覧

表彰部門	会社名又は個人名	工事名または業務名	
局長表彰	優良工事	金子工業株式会社	平成28年度 41号一之宮地区道路建設工事
	優良工事技術者	金子工業株式会社 野中 達司	平成28年度 41号一之宮地区道路建設工事
	優良業務	国際航業株式会社 岐阜営業所	平成29年度 高山国道管内施設点検設計業務
		川崎地質株式会社 中部支社	平成29年度 高山清見道路地質調査業務
優良業務技術者	川崎地質株式会社 中部支社 西岡 吉彦	平成29年度 高山清見道路地質調査業務	
事務所長表彰	優良工事	ナガイ株式会社	平成28年度 中部縦貫下切高架橋P2下部工事
		加永建設株式会社	平成28年度 41号神岡橋梁補修工事
		株式会社水口土建	平成28年度 中部縦貫上切坊方整備工事
	優良工事技術者	ナガイ株式会社 坂本 雅裕	平成28年度 中部縦貫下切高架橋P2下部工事
	優良業務	大日コンサルタント株式会社	平成29年度 飛騨地域橋梁予備設計業務
		有限会社南勢建築設計	平成29年度 41号一之宮除雪センター新築他2件設計業務
	優良業務技術者	国際航業株式会社 岐阜営業所 森澤 武久	平成29年度 高山国道管内施設点検設計業務
	安全工事	加藤・グリーン経常建設共同企業体 加藤土木株式会社	平成28年度 41号神岡地区洞門補修工事
		加藤・グリーン経常建設共同企業体 株式会社グリーン	平成28年度 41号神岡地区洞門補修工事
	社会貢献等	大山土木株式会社	平成28年度 中部縦貫中切上切地区道路建設工事
	協力会社	有限会社川口工務店	平成28年度 41号一之宮地区道路建設工事
		株式会社金城技建	平成28年度 41号一之宮地区道路建設工事
		有限会社井根鉄筋	平成28年度 中部縦貫下切高架橋P2下部工事
		有限会社井根鉄筋	平成28年度 中部縦貫中切上切地区道路建設工事
		有限会社石底工務店	平成28年度 中部縦貫下切高架橋P2下部工事
		大昌建設株式会社	平成28年度 中部縦貫下切高架橋P2下部工事
株式会社鉞組		平成28年度 41号神岡橋梁補修工事	
株式会社鉞組		平成28年度 41号神岡地区洞門補修工事	
ヤマダインフラテクノス株式会社		平成28年度 41号神岡橋梁補修工事	
日特建設株式会社 岐阜営業所		平成28年度 中部縦貫上切坊方整備工事	
飛高建設株式会社		平成28年度 中部縦貫上切坊方整備工事	
株式会社三和鉄工所		平成28年度 41号神岡地区洞門補修工事	
専任技術者	株式会社技研ユニティ	平成28年度 中部縦貫中切上切地区道路建設工事	
	有限会社井根鉄筋 桐山 利孝	平成28年度 中部縦貫下切高架橋P2下部工事	
	株式会社鉞組 浅井 登志高	平成28年度 41号神岡地区洞門補修工事	

受賞された皆さん（工事及び業務ごと）

監督職員らと記念撮影



平成28年度 41号一之宮地区道路建設工事



平成29年度 高山国道管内施設点検設計業務



平成29年度 高山清見道路地質調査業務



平成28年度 中部縦貫下切高架橋P2下部工事



平成28年度 41号神岡橋梁補修工事



平成28年度 中部縦貫上切坊方整備工事



平成28年度 41号神岡地区洞門補修工事



平成28年度 中部縦貫中切上切地区道路建設工事



平成29年度 飛騨地域橋梁予備設計業務



平成29年度 41号一之宮除雪センター新築他2件設計業務

意見交換会の様子



～ 地元の方にはご迷惑をおかけしております～ トンネル工事 久々野町の方の工事見学会

6月24日（日）、トンネル入口付近にお住まいの**高山市久々野町山梨月見班**の皆様（32名）が宮峠トンネルの工事現場を見学されました。

① トンネル内で概要を説明



工事で作ったコンクリート面をスクリーンにして事業や工事について説明しました。「工事作業の流れを説明する動画が分かりやすかった！」とのご感想を皆様よりいただきました。

② 各作業箇所を歩きながら視察



トンネルの先端部分で記念撮影



コンクリートの作業を説明

皆様トンネル工事に関心を持たれてみえたため、「一度はトンネルの中に入ってみたかった！」や「実際の工事現場が見れたので良かった！」とのご感想を皆様より多くいただきました。

< 地元の皆様への感謝とお礼 >

当日は小さなお子様からお年寄りの方まで、たくさんの方にお越しいただきありがとうございました。また当地域の皆様にはトンネル事業で大変なご迷惑をお掛けしているにも関わらず、見学会のお礼や励ましのお言葉などお気遣いいただき、誠にありがとうございました。

大勢の方に感心をもっていただいていることと、地域の皆様のご協力無くして事業が進められないことを肝に銘じて、初心に立ち返り十分に配慮して工事を進めて参りますので、引き続きご協力の程よろしくお願い致します。

< 参考 > 宮峠トンネル事業については下記URLをご参照願います。

高山国道事務所HP <http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/gaiyou/miyatouge.html>

飛騨高山高校の2, 3年生が外来生物の防除作業を実施 ～高山西ICビオトープ“飛騨の森再生”における環境学習～

高山西IC内に設けたビオトープ“飛騨の森再生”で生物多様性が進む一方、特定外来生物（オオハンゴンソウ）や生態系被害防止外来種リスト掲載種（イタチハギ等）も進入し始めていることから、7月13日（金）飛騨高山高校環境科学科2, 3年生6名が参加して、ビオトープ内の在来種保護のため、生態系被害防止外来種リスト（平成27年3月発表）に掲載されている「イタチハギ」および「フランスギク」の防除を行いました。また、林縁部において樹木周辺の草刈りを行いました。

林縁部には過年度に移植したキキョウが生育していますが、移植後数年を経て、その数は次第に増加しています。周辺の雑草があまり生長してしまうとキキョウの生育を阻害することから、キキョウ周辺の雑草について手鎌で草刈りを行いました。約30分の作業でキキョウ周辺はきれいになりました。

北アメリカ原産のイタチハギは、密生したヤブを形成し、伐採してもすぐ萌芽して再生してしまいます。そのため根を残さないよう掘り出し、防除後は焼却処分します。

今回、約30分の作業で約5kgのイタチハギを防除しました。

今回初めて防除を実施するフランスギクはヨーロッパ原産で、種子と根で繁殖するため繁殖力が強いうえに寒さにも強い一度侵入すると速い速度で繁殖します。こちらもイタチハギと同じく、種子が落ちる前に根を残さないよう掘り出し、防除後は焼却処分します。

約30分の作業で約7kgのフランスギクを防除しました。



【キキョウ】

環境省RL: 絶滅危惧Ⅱ類
岐阜県RDB: 準絶滅危惧



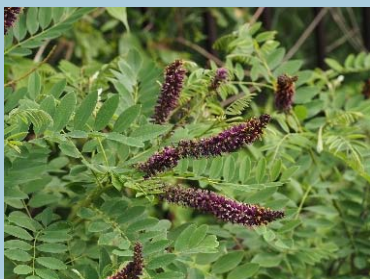
【林縁部の草刈り】

キキョウを切らないよう
周辺の植物を刈ります



【草刈り作業後】

刈り取り作業後、赤枠の中に
キキョウが残っています。



【イタチハギ】

ヤブを形成し在来種を駆逐します
(開花期に撮影)



【イタチハギの防除】

スコップを使用して根を
残さないよう掘り取ります



根粒

根に共生する根粒菌の働きで空気中
の窒素を栄養分として利用できます

【イタチハギの根粒】

根粒菌の働きにより成長が旺盛で
大群落を形成します



【フランスギク】

道路周辺で在来種と競合します
(開花期に撮影)



【フランスギクの防除】

スコップを使用して
根ごと掘り取ります



フランスギク
7kg

イタチハギ
5kg

【防除した外来種】

イタチハギとフランスギクは
袋に集め、焼却処分します

イタチハギは3年前に防除を始めた時は約40kgを防除しましたが、継続して防除を実施することで防除する量は確実に減ってきており、特に今年は大型の樹が少なく新芽の防除が多く、活動の成果は確実に上がってきています。

フランスギクは、今年は例年より暑くなるのが早かったため、花は散っていましたが、根を除くことで拡散を抑制する効果が見込まれます。

これからもビオトープの生態系保全のため、防除活動を継続して実施していきます。